

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

AYA 世代がん患者の支援ニーズに関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日の間にがんと診断され、昭和医科大学病院で治療を行った 18 歳以上 40 歳未満の患者さん

2. 研究目的・方法

AYA（Adolescent and Young Adult）世代とは、思春期・若年成人世代を指し、一般的には 15～39 歳頃の年代とされています。AYA 世代のがん患者さんは、進学、就職、結婚、妊娠・出産、子育てなど、人生において重要なライフイベントの時期に治療や療養を経験することが特徴です。そのため、治療に伴う身体的な苦痛だけでなく、学業や仕事、経済面、人間関係、将来への不安、妊孕性（将来子どもをもつこと）に関する悩みなど、多様な支援ニーズを抱えることが知られています。

日本のがん対策においても、AYA 世代への支援の重要性が高まっており、厚生労働省が策定した「第 4 期がん対策推進基本計画」では、AYA 世代のがん患者さんに対する支援の充実が重要な課題として示されています。特に、患者さん一人ひとりのライフステージに応じた支援や、就学・就労支援、妊孕性温存、心理社会的支援など、多面的な支援体制の整備が求められています。

昭和医科大学病院でも AYA 支援チームが結成されました。しかしながら、AYA 世代のがん患者さんが実際にどのような支援を必要としているのか、また、どのような支援が十分に受けられていないのかについては、十分に明らかになっていない部分があります。

そこで本研究は、AYA 世代のがん患者さんが抱える支援ニーズを明らかにすることを目的としています。具体的には、治療や療養生活の中で感じている困りごとや必要としている支援について調査し、AYA 世代の患者さんに対するよりよい支援体制の構築に役立てることを目指しています。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2032 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

AYA 世代がん患者さんスクリーニングシートの記載内容

年齢・性別・家族構成・就学・就労状況・診断名・治療内容（手術・がん薬物療法・放射線療法）

就学・就労・アピアランス・妊孕性温存治療に関する支援の有無

5. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学保健医療学部 看護学科 渡邊 知映

研究分担者 昭和医科大学病院 乳腺外科 林 直輝

昭和医科大学病院 乳腺外科 垂野 香苗

昭和医科大学 保健医療学部 看護学科 本間 織重

昭和医科大学病院 看護部 路川 環

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和医科大学保健医療学部

氏名： 渡邊 知映

住所： 神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865

電話番号： 045-985-6532

メールアドレス： chiew@med.showa-u.ac.jp